

公開用 研究内容

研究課題名	C型肝炎ウイルス排除症例に対する、ウイルス排除の認識に対する調査
研究の内容	<p>【目的】 抗ウイルス療法によりウイルスを排除したC型肝炎の患者さんが、治癒後も他の医療現場で「C型肝炎である」という誤解を受けたことの有る頻度を調査する。</p> <p>【方法】</p> <p>●対象となる患者さん 治療によりウイルスを排除したC型肝炎の患者さんで、治療後令和3年6月30日までに外来を受診された方。</p> <p>●利用する検体、カルテ情報 外来受診時にアンケートに答えていただき、その内容を集計して利用します。</p> <p>カルテ情報：年齢、性別、身長、病歴に関する情報（C型肝炎ウイルスを排除した年）、採血データ（白血球・赤血球・血小板数・肝機能）、C型肝炎ウイルスを排除した治療内容</p> <p>【提供方法】 自施設</p> <p>【利用範囲】 自施設</p> <p>【情報管理責任者】 豊田秀徳</p> <p>【拒否機会の保障】 研究対象者の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する</p>
対象疾患	C型肝炎の抗ウイルス療法によりC型肝炎ウイルスを排除した方
当院責任者	愛媛県立中央病院 平岡淳（研究責任者：大垣市民病院 豊田秀徳）
承認年月	2020年1月